

# Mizuho Daily Market Report

2023/3/14

## 為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	134.52	133.21	▲1.82	▲2.72
EUR	1.0727	1.0731	+0.0088	+0.0050
AUD	0.6675	0.6668	+0.0088	▲0.0062
SGD	1.3447	1.3462	▲0.0038	+0.0011
CNY	6.9005	6.8483	▲0.0690	▲0.0834
MYR	4.4875	4.4945	▲0.0255	+0.0165
THB	34.63	34.51	▲0.24	+0.00
IDR	15377	15377	▲73	+82
PHP	54.94	54.96	▲0.19	+0.11
INR	81.92	82.13	+0.08	+0.21

## 金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	3.573%	▲12.6 bp	▲38.5 bp
日本(10年)	0.348%	▲6.3 bp	▲15.8 bp
ユーロ圏(10年)	2.259%	▲24.9 bp	▲49.0 bp
オーストラリア(5年)	3.284%	▲11.4 bp	▲29.1 bp
シンガポール(5年)	3.095%	▲16.0 bp	▲21.7 bp
中国(5年)	2.681%	+0.6 bp	▲1.2 bp
マレーシア(5年)	3.519%	▲6.1 bp	▲16.2 bp
タイ(5年)	2.060%	▲4.5 bp	▲13.7 bp
インドネシア(5年)	6.482%	▲8.9 bp	▲3.5 bp
フィリピン(5年)	5.872%	▲10.7 bp	▲23.4 bp
インド(5年)	7.268%	▲13.0 bp	▲12.1 bp

## 株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	31,819.14	▲0.3%	▲4.8%
N225(日本)	27,832.96	▲1.1%	▲1.4%
STOXX50(ユーロ圏)	4,096.54	▲3.1%	▲5.0%
ASX(オーストラリア)	4,117.47	▲2.6%	▲5.0%
FTSTI(シンガポール)	3,132.37	▲1.4%	▲3.3%
SSEC(中国)	3,268.70	+1.2%	▲1.6%
KLSE(マレーシア)	1,421.83	▲0.8%	▲2.1%
SETI(タイ)	1,573.07	▲1.7%	▲2.1%
JKSE(インドネシア)	6,786.955	+0.3%	▲0.3%
PSE(フィリピン)	6,544.45	▲0.7%	▲1.9%
SENSEX(インド)	58,237.85	▲1.5%	▲3.3%

## 商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	264.67	▲0.1%	▲3.3%
金	1,913.70	+2.4%	+3.6%
原油(WTI)	74.80	▲2.5%	▲7.0%
銅	8,918.25	+0.8%	+0.3%

\*1週間前の終値と比較

## 【本日の予想レンジ】

USD/JPY	133.50	—	135.50
EUR/USD	1.0550	—	1.0710
AUD/USD	0.6500	—	0.6700
USD/SGD	1.3450	—	1.3590
USD/CNY	6.9000	—	6.9600
USD/MYR	4.4800	—	4.5300
USD/THB	34.50	—	35.10
USD/IDR	15300	—	15580
USD/PHP	55.10	—	55.80
USD/INR	81.50	—	83.00

## 【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:  
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department  
Tel: 65-6805-4100

## 【為替】

アジア時間の東京時間のドル円は134円台後半でオープン。米地銀に関連したヘッドラインが交錯する中、金融システムへの影響等を勘案し、当局が利上げペースを緩めるとの期待から米金利が低下、ドル円は133円台後半まで下落した。売り一巡後は、米2月CPI発表を翌日に控えてドル買い圧力が強まり、134円台半ばで海外時間へ渡った。

アジア通貨はドル安の流れで総じて堅調。インドルピーはインフレ指標の緩和で利上げ観測後退が意識され、上値が重かった。

海外時間のドル円はロンドンオープン後に再びリスク回避の円買いが先行し、133円台前半でNYオープン。オープン後に132円台前半まで下落し、朝方にバイデン米大統領が米金融システムの健全性に関する演説を行ったが、市場の反応は限定的だった。その後米主要株価指数の上昇を受け、ドル円もじりじり上昇、133円台半ばまで反発するも、翌日に米2月CPI発表を控え上値追いは限定的で引けにかけて反落、結局133円台前半でクローズ。

## 【金利】

本日の米金利は、中期ゾーンが大きく低下しイールドカーブはスティープ化。前週末の米銀破綻の影響については、金曜日時点では他への波及は限定的と見られていたものの、週が明けて別銀行の事業停止も報道されたことで、一機に銀行及び金融システムへの不安が強まり、米地銀の株価は軒並み大幅下落。FIDC(米連邦預金保険公社)は上記銀行の預金全額保護を発表したが、米2年金利は60BP程度低下、来週のFOMCでの利上げ織り込みは50bpsから利下げの可能性を見るところまで変化している。

## 【予想】

本日のドル円も軟調な推移を予想。利上げ停止の思惑も強まる状況下、目下の注目材料は米地銀の経営破綻の影響。本日は米CPIの発表も控えるが、米経済への余波や金融システムの安定性が確認されるまでは、引き続きリスクオフ地合いが強まるか。

## 【本日の予定】

(日本) 国債入札(5Y)  
(アジア) 1月 NZ 純移住者数  
(アジア) 1月 フィリピン 海外フィリピン人労働者送金  
(アジア) 1月 フィリピン 貿易収支  
(アジア) 2月 インド 卸売物価  
(アジア) 2月 豪 NAB企業信頼感  
(アジア) 2月 韓国 輸入物価指数 / 輸出物価指数  
(アジア) 3月 豪 ウェストハック消費者信頼感指数  
(欧州) 1月 英 雇用統計  
(欧州) 2月 英 失業率 / 失業保険申請件数推移  
(欧州) EU財務相理事会(ブリュッセル)  
(欧州) 独 国債入札(5Y)  
(米国) 2月 CPI  
(米国) 2月 NFIB中小企業楽観指数  
(米国) 2月 実質平均時給

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。